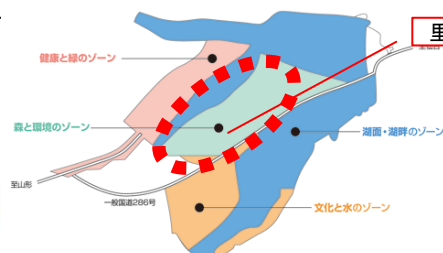




森の楽校だより VOL. 16



森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、この度、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 23 年度は最初の取り組みとして、森の中のコナラの木に、活動の拠点となるツリーハウスを作っています。

3月10日(土) 雪・みぞれ テッキの床板を張って手すりを作りました！



ファーストデッキの床板張りをしながら、デッキ周囲の形を整えました。ま高低差がある所には手すりを取り付けました。

「音楽会をやるといいね！」デッキ完成に向けて、夢がふくらみます。

まだまだ板挽きが必要です。



床板を根太に取り付けています。



手すり用のスギの皮むき



手すりを固定しています。



里山管理

里山地区では、別の団体も活動を実施しています。
こんな活動をしています。



写真 アズマネザサが繁茂する現況



写真 劣勢木が密生する現況

① コナラ林の皆伐更新

- ・ 自然共生園（知恵体験舎、炭焼き、ホダ木）で使用するコナラ材を得る。
- ・ 皆伐更新施業範囲では、ササ、低木等の下刈り、立木の皆伐を行う。

3/10のコナラ林



② スギ林の間伐

- ・ 密生したスギ林の間伐及び、低木、ササなどの刈り払い約 4700 m²

馬の木材搬出作業見学

その活動の一環として、今日は、馬の木材搬出作業があったので、見学をさせていただきました。自然共生園ボランティアも一緒です。入口近くの、スギ林の間伐作業の場所で行われました。

馬での搬出作業は、林地をあまり荒らさないことや二酸化炭素の排出がない、環境にやさしく、古来から行われている木材の集材・搬出作業方法です。

